

平成30年12月7日

経営幹部御中

公益社団法人 京都工業会
技術・教育委員会

【徹底したムダの排除による原価低減と人材育成に取り組もう！】

第21回 京都KAIZEN大会 ご案内

グローバル経済の今、企業の国際競争が激しさを増す中、「リードタイム短縮と在庫の低減」を切り口とした「平準化・工程結合・PULL生産」等の現場改善手法や「モノと情報の流れ」におけるモノの停滞や問題点を見つけ、効率・生産性の向上を図るといった調達～製造～出荷の同期化等の生産革新活動が求められております。

このような中、本会ではこれらの課題への対応事業として、毎年、生産革新研究会をベースに、IE・JIT事例に学ぶ「京都KAIZEN大会」を開催しております。

第21回を迎えた本年度は、従来の「徹底したムダの排除による原価低減」に加えて、「生産現場情報のJIT化」をテーマに下記により開催いたします。

今一度、現場の「ムリ」「ムダ」「ムラ」を見直したい方、生産システムを見直したい方、自社の改善マインドを図りたい方のご参考にしていただければ幸いです。

記

開催日時 平成31年1月25日（金）13:00～17:00

会場 京都工業会館

対象 生産革新推進者及びライン改善担当者

ねらい IE手法をベースとしたライン改善方法を学ぶ
 ジャストインタイムの思想に基づいた生産システム改革を学ぶ
 トヨタ生産方式の概念に基づく原価低減方法を学ぶ
 トヨタ生産方式の概念に基づく改善風土の在り方を学ぶ

参加費 京都工業会 会員企業 6,000円（税込）/人
会員外 9,000円（税込）/人

（但し、本会・生産革新研究会（基礎IE&JIT部会）メンバーご本人のみ無料）

申込方法 添付申込用紙に必要事項をご記入のうえ、来る1月18日（金）までに
FAX（075-313-0755）にてお申し込み下さい。

（公社）京都工業会 業務課長 宮田哲也 業務課 小嶋大樹

〈TEL〉075-313-0751 〈FAX〉075-313-0755

＜プログラム＞

時間	内 容 ・ テ ー マ
13:00	あいさつ 技術・教育委員会 委員長 洲崎智之氏 (日新電機株) 人材開発部 技師長)
13:10	第1部 平成30年度 生産革新研究会の活動報告 ＜基礎IE部会＞ ◇現場改善実習の報告（実施企業：オムロン京都太陽株） ◇現場改善実習、改善案についてのコメント（実施企業幹部より） ◇年間活動のまとめ～今後のアドバイスを含めて～ NPSソリューション 代表 吉植久正氏 (基礎IE部会アドバイザー) (吉植氏ご紹介) ＜元オムロン株ITソリューション部主事＞ 本社及び事業部にて生産革新活動を推進後、オムロン株の各工場に対し、改善活動を支援する。定年後、独立。現在、コンサルタントとして活躍中。
15:40	＜JIT改善部会＞ ◇JIT改善部会：年間活動の報告 ◇現場改善実習、改善案についてのコメント（実施企業幹部より） ◇参加企業におけるバリューストリームマップの作成報告 ◇年間活動のまとめ～今後のアドバイスを含めて～ 香川改善オフィス 代表 香川博昭氏 (JIT改善部会アドバイザー) (香川氏ご紹介) ＜元関西日本電気株生産革新推進室長＞ IE及びTPS（トヨタ生産方式）やTPMの導入・展開に多大な貢献をなし、現在コンサルタントとして、国内外の様々なモノづくり工場における生産革新活動の指導及び、各種改善研修の講師を担当。
15:50	第2部 特別講演 「これからのものづくりに求められること」 ～IoTを活用した明るく楽しい現場づくり～ 関ものづくり研究所 代表 関 伸一氏
17:00	(関氏ご紹介) テイ・エステック株勤務を経て、1992年、ローランドディー・ジー・株入社。2000年自らが提案した1人完結デジタル屋台生産を推進。セル生産革新の新潮流として注目を集める。2010年 独立。現在、コンサルタント、静岡大学 客員教授、NPO法人 三次元設計能力検定協会事務局長など、多訪問面で活躍中



1月18日(金)

第21回 京都KAIZEN大会 参加申込書

会社名 _____ TEL _____ FAX _____

所在地 (〒 _____) _____

申込担当者 (所属・役職) _____ (氏名) _____

No	所属・役職名	フリガナ		備 考
		氏 名		
1				
2				

京都工業会FAX 075-313-0755

※ご記入いただいたデータは、当事業の事務連絡のみに利用させていただきます。